

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 28 年 8 月 29 日 発行

第 16 号

発行人 校長 鈴木史良

第 1 回学校評価結果の概要

—— 結果の分析と効果的対応でパフォーマンスを向上させる ——

7月に第1回学校評価アンケートを実施いたしました。学校のこれまでのパフォーマンスを自己評価し、よりよい方向にすすめるためのアンケートです。保護者の皆さまからも忌憚のないご意見をいただき、ありがとうございました。たいへん参考になりました。この結果をもとに2学期の活動において具体的なアクションプランを提示し、所期のねらいを達成できるよう、少しでも改善していきたいと考えています。以下、児童生徒、保護者、職員の回答のうちA、Bを肯定的意見、C、Dを否定的意見としてまとめた数値をパーセントで表し、前回（昨年12月）に実施たものと比較してみましたのでご覧ください。（ / ）内の数値は、**前回(黒)/今回(青)**で表示しています。

【児童生徒のまとめ】

1 学習について

学習の準備をして授業を迎えた	(肯 79/ 94 否 21/ 6)
授業がわかり、興味があった	(肯 93/ 94 否 7/ 6)
基礎基本が身につけてきた	(肯 93/ 88 否 7/ 12)

「学習の準備をして～」は15%ものアップが見られた。前回アクションプラン1「授業終わりに黒板消し、次時の準備をする。」を子どもたちに繰り返しよびかけたことが功を奏したと言える。

2 生活について

あいさつ・へんじ・+α	——	あいさつ	(肯 100/ 100 否 0/ 0)
		へんじ	(肯 93/ 94 否 7/ 6)
		くつならべ	(肯 100/ 94 否 0/ 6)
		いす入れ	(肯 86/ 94 否 14/ 6)
礼儀正しい言葉づかいができた			(肯 64/ 69 否 36/ 31)
時間いっぱい掃除に取り組んだ			(肯 75/ 94 否 25/ 6)

「時間いっぱい清掃に～」が19%向上した。前回アクションプラン3「掃除の始めと終わりのあいさつをする。」を各学年徹底した成果がでた。一方、数年来の課題となっている「礼儀正しい言葉づかい～」は「授業中は敬称（～さん）、敬語を使う。」というアクションプランでよびかけを行ったが、はかばかしい成果が見られなかった。アクションプランの見直しを行いたい。

3 友達や集団について

学校の仲間と協力できた	(肯 85/ 88 否 15/ 12)
自分のよさを知り生活に生かせた	(肯 77/ 71 否 23/ 29)
友達のよさを見つけ伝えた	(肯 85/ 94 否 15/ 6)

「自分のよさを知り～」について4分の1の子どもたちが否定的な意見をもっていた。その子のよい行動を教師が認め、日常生活にいきていることを丁寧に声掛けしたい。「友達のよさを見つけ～」は「全校児童生徒が集う場で、仲間のよさを伝え合う。」というアクションプランにより、子

どもたちに友達のよさを見つけて伝えるということが浸透してきている。

【保護者のまとめ】

1 学習について

わかりやすい授業をおこなっている	(肯 100/ 82 否 0/18)
基礎学力が定着している	(肯 100/ 75 否 0/25)

2 生活について

基本的な生活習慣の育成、挨拶、返事など	(肯 100/100 否 0/ 0)
豊かな人間関係の醸成	(肯 100/100 否 0/ 0)
清潔で安全な学習環境の確保	(肯 67/ 64 否 33/36)

3 開かれた学校づくり

情報公開、各種便り、HP	(肯 100/100 否 0/ 0)
授業公開、行事、オープンドア	(肯 100/100 否 0/ 0)
親身な対応	(肯 100/ 91 否 0/ 9)
特色ある教育活動	(肯 89/ 91 否 11/ 9)

【教師のまとめ】

1 学習について

わかりやすい授業をおこなっている	(肯 100/100 否 0/ 0)
基礎学力が定着している	(肯 100/100 否 0/ 0)

2 生活について

基本的な生活習慣の育成、挨拶、返事など	(肯 100/100 否 0/ 0)
豊かな人間関係の醸成	(肯 86/100 否 14/ 0)
清潔で安全な学習環境の確保	(肯 67/100 否 33/ 0)

3 開かれた学校づくり

情報公開、各種便り、HP	(肯 100/100 否 0/ 0)
授業公開、行事、オープンドア	(肯 100/100 否 0/ 0)
親身な対応	(肯 100/100 否 0/ 0)
特色ある教育活動	(肯 89/100 否 11/ 0)

保護者評価の「清潔で安全な学習環境～」の肯定的意見が少ないのは、“セキュリティーカメラ2台を設置する。”というアクションプランのもと、カメラは設置されたが電磁キーの設置が予定より大幅に遅れ、その伝達がなかったことに起因する。その点をお詫びするとともに、今学期以降、カメラや電磁キーを有効に活用し、危機管理意識の向上を図りたい。また、少人数を生かした学習指導の充実やドイツ語、英語の授業に新たな方法を見いだしていきたいと考えている。

9月の主要予定

ホームページでの公開はしておりません。ご了承ください